



心で何を感じられたか？(人権集会より)

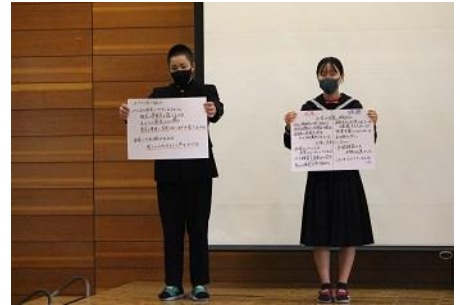
今から75年前の1948年、国際連合総会において「世界人権宣言」が採択されました。その時以来、12月10日を「世界人権の日」として、毎年この時期に全世界において、人権の問題や課題について考えるイベントや運動が集中的に行われています。今年は12月4日～10日が人権週間とされており、本校では12月6日(水)に人権集会を行いました。

まず始めに、各クラスから学級人権宣言の振り返りがありました。自分たちが1学期につくった人権宣言の内容を現在のクラスの現状と照らし合わせ、成果と課題を明確にし、残りの期間に何をどう頑張るのかその具体的内容を発表しました。次に、生徒代表の人権作文の朗読(当日は欠席のため担任が代読)がありました。「嫌な言葉を聞いたり、自分が何気なく使ったりした経験や、SNS上の書き込みで、事実をよく知らないのに、その時の感情だけで他人を不快にする書き込みがたくさんあることへの嫌悪感から、一度冷静になって発言したり、書き込みをしたりすることが大切である」という提案でした。

次に、「ネットの友だちはあり？なし？」をテーマに、同じ意見の人と学年を超えて意見交流しました。時間の関係で、意見対立まではできませんでしたが、意見交流を通して、同じテーマに対しても、人それぞれの考え方が理解できたと思います。人権担当からは、「インターネットと人権」について、コロナでクラスターが発生し、ピンチに陥った高校を救ったサッカー元日本代表、本田圭祐さんの話や、現在の国内外で起きている人権侵害にあたる行為について紹介がありました。最後の講評で、私は先日、知人から教えてもらった「景子ちゃんの接待所」の話を紹介し、このようなまとめをしました。

「ありがとう」の言葉で、接待をした側の思いが生き返ったり、もうちょっと頑張ってみようと思えたりする。改めて、「ありがとう」のもつ力は凄いと感じます。今日、人権に関する色々なことを考えました。私は、よく挨拶のことを話しますが、いつでも、どこでも、誰にでもきちんとした大きな声での挨拶ができるようになってほしいことに加えて、仁尾中学校に「ありがとう」という言葉がもっとあふれたら良いと思っています。他人がしてくれていることに気付くこと、そしてそれに素直な感謝の気持ちをもつことで、自然と「ありがとう」の言葉が出てきます。きちんとした挨拶ができる、ありがとうと言える、そんな学校、人間関係、生き方の土台の上こそ、今日皆さんが考えた人権に関する取組があるのではないのでしょうか。

明日から例年より3日長い冬休みに入ります。年末年始もあり、家で過ごす時間が長くなると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。皆さん、良いお年を！



確かな学力

12/13(水)、14(木)に1年生が人権・同和学習を行いました。学習テーマは部落差別で、江口いとさんの「人の値うち」の詩の内容について、理解を深めていきました。部落差別によって辛く苦しい思いをした人たちの思いに触れるとともに、部落差別の不合理さを理解し、誰しもがもっている偏見や差別意識に気づき、弱い心に負けず、差別をなくしていこうとする気持ちをもつことの大切さについて学びました。



豊かな心

12/10(日)、生徒6名、教師2名が参加して、倉敷市真備地区で現地防災学習を行いました。ご存じの通り、5年前の西日本豪雨で大きな被害を受けた地域です。当日は真備中との交流、当時を知る方の案内によるフィールドワークを行いました。復興が進み、当時の爪痕も減り、比較できないほど綺麗になっていましたが、本当の事実を見聞きする経験を通して、大災害の時に自分たちがどうすべきかを考える良い機会になりました。

